

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年11月14日

【四半期会計期間】 第94期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社大運

【英訳名】 DAIUN CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高橋 健一

【本店の所在の場所】 大阪市西区西本町一丁目10番10号

【電話番号】 (06)6532局4101番

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 吉野 弘一

【最寄りの連絡場所】 大阪市西区西本町一丁目10番10号

【電話番号】 (06)6532局4101番

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 吉野 弘一

【縦覧に供する場所】 株式会社大運 神戸支店
(神戸市東灘区向洋町東三丁目)
株式会社大運 名古屋支店
(名古屋市中区丸の内一丁目4番12号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第93期 第2四半期 累計期間	第94期 第2四半期 累計期間	第93期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	3,195,718	3,188,506	6,238,336
経常利益 (千円)	37,496	80,698	53,771
四半期(当期)純利益又は四半期純損失() (千円)	20,685	66,572	47,364
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	2,394,398	2,394,398	2,394,398
発行済株式総数 (千株)	62,280	62,280	62,280
純資産額 (千円)	1,704,609	1,991,563	1,843,798
総資産額 (千円)	5,484,197	5,654,994	5,403,844
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額() (円)	0.33	1.07	0.76
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	31.1	35.2	34.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	51,981	37,780	104,494
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	79,407	63,070	150,416
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	107,673	80,978	18,036
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,491,839	1,557,866	1,451,597

回次	第93期 第2四半期 会計期間	第94期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (円)	0.12	0.60

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 当社は子会社株式及び関連会社株式を有していないので、持分法を適用した場合の投資利益については、記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。
また、当社は関係会社を有しておらず、その異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等を行なわれておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、円安・株価高が進行し、輸出企業を中心に業績の回復傾向が見受けられます。しかしながら、円安が原材料コストや物価の押し上げとなる面もあり、先行き不透明感も残る状況が続いております。

当業界におきましては、今後の荷動き活発化の期待はあるものの、低価格化競争が続き、楽観視できない状況にあります。

このような状況の中、当社におきましては、引続き受注の拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。低採算の賃借施設の返還をはじめとした経費削減により、損益分岐点を下げております。

前第2四半期累計期間と比べ、円安の影響が徐々に浸透し、比較的採算の良い輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は伸び悩みました。

この結果、当第2四半期累計期間における営業収入は3,188,506千円で、前年同四半期と比べ7,212千円（0.2%）の減収、営業利益は73,489千円で、前年同四半期と比べ36,539千円（98.9%）の増益、経常利益は80,698千円で、前年同四半期と比べ43,201千円（115.2%）の増益となりました。四半期純利益は66,572千円となり、55,161千円の投資有価証券評価損を計上した前年同四半期と比べ、87,258千円（前年同四半期は 20,685千円）の増益となりました。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は伸び悩みました。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、3,054,819千円で、前年同四半期と比べ10,108千円（0.3%）の減収となり、全セグメントの95.8%を占めております。

セグメント利益（営業利益）は226,627千円で、前年同四半期と比べ28,959千円（14.6%）の増益となりました。

自動車運送事業

当セグメントにおきましては、堅実な業績改善を図ることができました。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、128,848千円で、前年同四半期と比べ4,254千円（3.4%）の増収となり、全セグメントの4.0%を占めております。

セグメント利益は、9,790千円で、前年同四半期と比べ14,888千円（前年同四半期は 5,098千円）の増益となりました。

その他

当セグメントにおきましては、輸入関連の荷動きが減少したことにより、海上保険収入は伸び悩みました。

この結果、営業収入は、4,838千円で、前年同四半期と比べ1,358千円(21.9%)の減収となり、全セグメントの0.2%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、4,748千円で、前年同四半期と比べ1,369千円(22.4%)の減益となりました。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より160,856千円増加して3,298,401千円となりました。これは営業未収入金の増加104,045千円、立替金の増加52,538千円等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より87,844千円増加して2,345,414千円となりました。これは株価の上昇による投資有価証券の増加89,093千円等によるものであります。

(繰延資産)

当第2四半期会計期間末における繰延資産は、前事業年度末より2,448千円増加して11,178千円となりました。これは社債発行に伴う社債発行費の増加2,448千円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より6,799千円増加して2,101,594千円となりました。これは営業未払金の増加51,881千円、預り金の減少17,110千円、未払金の減少13,597千円等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より96,584千円増加して1,561,835千円となりました。これは社債の増加82,650千円、長期借入金の増加18,166千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末より147,765千円増加して1,991,563千円となりました。これはその他有価証券評価差額金の増加81,260千円、繰越利益剰余金の増加66,572千円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フロー - の状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末比106,268千円増加し、1,557,866千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、37,780千円(前年同四半期は51,981千円)でありました。これは、税引前四半期純利益計上79,673千円、減価償却費計上44,008千円、仕入債務の増加46,500千円、売上債権の増加115,596千円、立替金の増加52,538千円、その他負債の増加36,466千円等が主な要因となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、63,070千円（前年同四半期は79,407千円）でありました。これは、定期預金の払戻しによる収入103,000千円、無形固定資産の取得による支出 20,860千円、有形固定資産の取得による支出 14,838千円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、80,978千円（前年同四半期は107,673千円）でありました。これは、長期借入れによる収入500,000千円、長期借入の返済による支出507,700千円、社債の発行による収入146,400千円、社債の償還による支出 46,050千円等によるものです。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	150,000,000
計	150,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	62,280,394	62,280,394	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は1,000株 であります。
計	62,280,394	62,280,394	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日	-	62,280,394	-	2,394,398	-	314,304

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
大運協力会社持株会	大阪市西区西本町1丁目10-10	6,038	9.69
大運従業員持株会	大阪市西区西本町1丁目10-10	2,201	3.53
藤本弘和	大阪府吹田市	2,053	3.29
柴田剛志	千葉県市川市	1,365	2.19
日本証券金融株式会社	東京都千代田区日本橋茅場町1丁目2-10	1,107	1.77
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4	783	1.25
SMB C日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内3丁目3-1	773	1.24
加藤清行	愛媛県新居浜市	750	1.20
吉澤英雄	茨城県水戸市	627	1.00
澤吉修	大阪府高槻市	618	0.99
計		16,317	26.19

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 98,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 61,249,000	61,249	
単元未満株式	普通株式 933,394		
発行済株式総数	62,280,394		
総株主の議決権		61,249	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が12,000株(議決権12個)含まれております。
2 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社の自己株式869株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社大運	大阪市西区西本町 1-10-10	98,000		98,000	0.15
計		98,000		98,000	0.15

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、かがやき監査法人により四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社を有していないので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,038,697	2,041,966
受取手形	6,107	2,781
営業未収入金	684,888	788,933
立替金	354,060	406,599
その他	61,980	67,581
貸倒引当金	8,190	9,460
流動資産合計	3,137,544	3,298,401
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	201,478	193,480
構築物（純額）	2,552	2,476
機械及び装置（純額）	19,114	16,719
車両運搬具（純額）	48,808	40,161
工具、器具及び備品（純額）	10,619	10,102
土地	576,183	576,183
リース資産（純額）	27,584	33,854
建設仮勘定	4,500	-
有形固定資産合計	890,841	872,978
無形固定資産		
のれん	391,034	377,068
その他	103,282	109,641
無形固定資産合計	494,316	486,710
投資その他の資産		
投資有価証券	669,293	758,387
差入保証金	99,194	99,633
その他	384,739	403,493
貸倒引当金	280,815	275,788
投資その他の資産合計	872,412	985,725
固定資産合計	2,257,569	2,345,414
繰延資産		
社債発行費	8,730	11,178
繰延資産合計	8,730	11,178
資産合計	5,403,844	5,654,994

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	47,874	42,493
営業未払金	479,705	531,586
短期借入金	648,600	655,000
1年内償還予定の社債	92,100	113,400
1年内返済予定の長期借入金	605,577	579,710
未払金	75,842	62,244
未払法人税等	13,682	16,900
賞与引当金	34,453	34,790
その他	96,960	65,470
流動負債合計	2,094,795	2,101,594
固定負債		
社債	296,850	379,500
長期借入金	887,975	906,142
退職給付引当金	175,572	181,268
その他	104,854	94,925
固定負債合計	1,465,251	1,561,835
負債合計	3,560,046	3,663,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,466	433,446
資本剰余金合計	747,771	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,152,310	1,085,737
利益剰余金合計	1,146,454	1,079,881
自己株式	10,371	10,419
株主資本合計	1,985,344	2,051,848
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	141,545	60,285
評価・換算差額等合計	141,545	60,285
純資産合計	1,843,798	1,991,563
負債純資産合計	5,403,844	5,654,994

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収入	3,195,718	3,188,506
営業原価	2,997,030	2,947,248
営業総利益	198,688	241,257
販売費及び一般管理費	¹ 161,737	¹ 167,768
営業利益	36,950	73,489
営業外収益		
受取利息	104	86
受取配当金	11,693	11,194
貸倒引当金戻入額	115	-
雑収入	18,129	22,056
営業外収益合計	30,043	33,337
営業外費用		
支払利息	27,945	24,492
社債発行費償却	167	1,151
雑損失	1,384	484
営業外費用合計	29,497	26,129
経常利益	37,496	80,698
特別利益		
固定資産売却益	685	98
投資有価証券売却益	-	1,376
特別利益合計	685	1,475
特別損失		
固定資産除却損	255	-
投資有価証券評価損	55,161	2,499
特別損失合計	55,416	2,499
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	17,234	79,673
法人税、住民税及び事業税	3,451	13,100
法人税等合計	3,451	13,100
四半期純利益又は四半期純損失()	20,685	66,572

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	17,234	79,673
減価償却費	43,650	44,008
のれん償却額	13,965	13,965
貸倒引当金の増減額(は減少)	21,011	3,757
賞与引当金の増減額(は減少)	1,400	337
退職給付引当金の増減額(は減少)	13,446	5,696
受取利息及び受取配当金	11,798	11,280
支払利息	27,945	24,492
為替差損益(は益)	584	656
有形固定資産売却損益(は益)	685	98
有形固定資産除却損	255	-
投資有価証券売却損益(は益)	-	1,376
投資有価証券評価損益(は益)	55,161	2,499
売上債権の増減額(は増加)	34,256	115,596
仕入債務の増減額(は減少)	24,898	46,500
立替金の増減額(は増加)	109,236	52,538
その他の資産の増減額(は増加)	18,321	8,227
その他の負債の増減額(は減少)	2,980	36,466
小計	28,258	12,824
利息及び配当金の受取額	11,798	11,280
利息の支払額	28,619	29,518
法人税等の支払額	6,902	6,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,981	37,780
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	16,000	-
定期預金の払戻による収入	-	103,000
有形固定資産の取得による支出	30,189	14,838
有形固定資産の売却による収入	685	98
無形固定資産の取得による支出	4,200	20,860
投資有価証券の償還による収入	-	4,998
投資有価証券の取得による支出	29,650	11,089
投資有価証券の売却による収入	-	2,133
長期貸付金の回収による収入	500	-
出資金の払込による支出	180	-
その他の支出	373	1,631
その他の収入	-	1,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	79,407	63,070

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（は減少）	19,400	6,400
長期借入れによる収入	200,000	500,000
長期借入金の返済による支出	366,452	507,700
社債の発行による収入	264,988	146,400
社債の償還による支出	-	46,050
自己株式の処分による収入	11	8
自己株式の取得による支出	6	76
リース債務の返済による支出	10,267	18,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	107,673	80,978
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	23,715	106,268
現金及び現金同等物の期首残高	1,515,555	1,451,597
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 1,491,839	¹ 1,557,866

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日至 平成25年9月30日)	
税金費用の計算	
税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。	

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
役員報酬	19,980千円	役員報酬	21,630千円
従業員給料(賞与除く)	39,139千円	従業員給料(賞与除く)	34,505千円
退職給付費用	3,792千円	退職給付費用	1,542千円
減価償却費	5,440千円	減価償却費	14,572千円
のれん償却額	13,965千円	のれん償却額	13,965千円
賞与引当金繰入	5,318千円	賞与引当金繰入	265千円
貸倒引当金繰入	20,895千円	貸倒引当金繰入	3,757千円
雑費	33,998千円	雑費	22,494千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	2,066,939千円	2,041,966千円
担保差入定期預金	569,100千円	484,100千円
預入期間が3か月を超える定期預金	6,000千円	
現金及び現金同等物	1,491,839千円	1,557,866千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 配当に関する事項

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 配当に関する事項

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社はデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は子会社及び関係会社を有していないので、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	合計 (注)3
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,064,927	124,594	3,189,522	6,196	3,195,718	-	3,195,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	837,503	244,241	1,081,745	-	1,081,745	1,081,745	
計	3,902,431	368,836	4,271,267	6,196	4,277,463	1,081,745	3,196,718
セグメント利益又は損失()	197,668	5,098	192,570	6,117	198,688	161,737	36,950

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額の内容は、161,737千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	合計 (注)3
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,054,819	128,848	3,183,668	4,838	3,188,506		3,188,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	783,146	223,687	1,006,834		1,006,834	1,006,834	
計	3,837,965	352,536	4,190,502	4,838	4,195,340	1,006,834	3,188,506
セグメント利益	226,627	9,790	236,417	4,748	241,165	167,676	73,489

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額の内容は、167,676千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益又は損失()と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	0円33銭	1円07銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	20,685	66,572
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	20,685	66,572
普通株式の期中平均株式数(千株)	62,185	62,182

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

株式会社 大運
取締役会 御中

かがやき監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 上 田 勝 久 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 奥 村 隆 志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大運の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第94期事業年度の第2四半期会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大運の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。